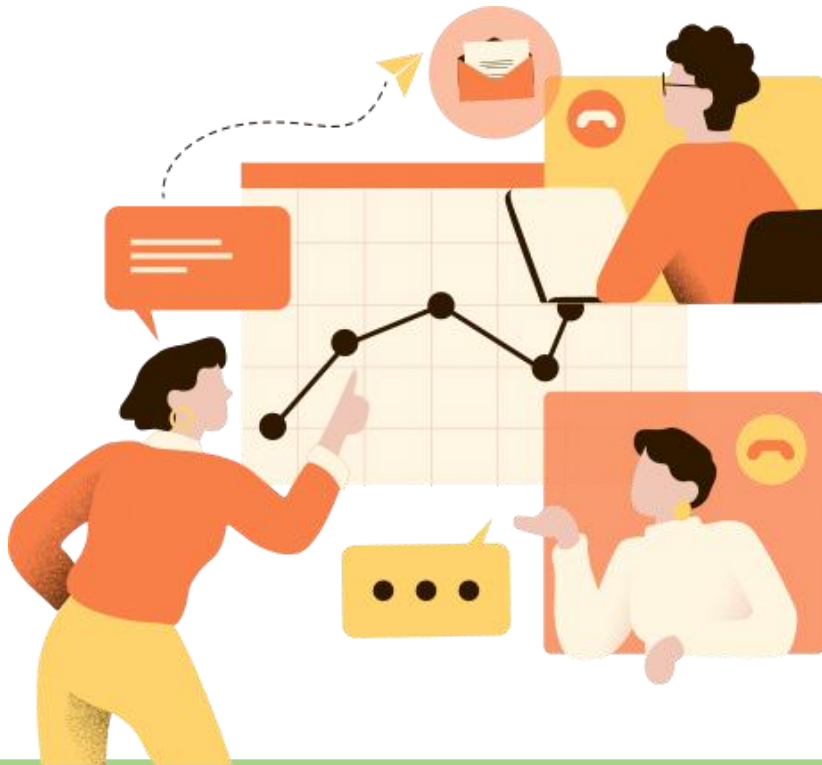


# 令和7年度 全国学力・学習状況調査

## 結果概要



交野市教育委員会  
教育指導部 学校教育課

## 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

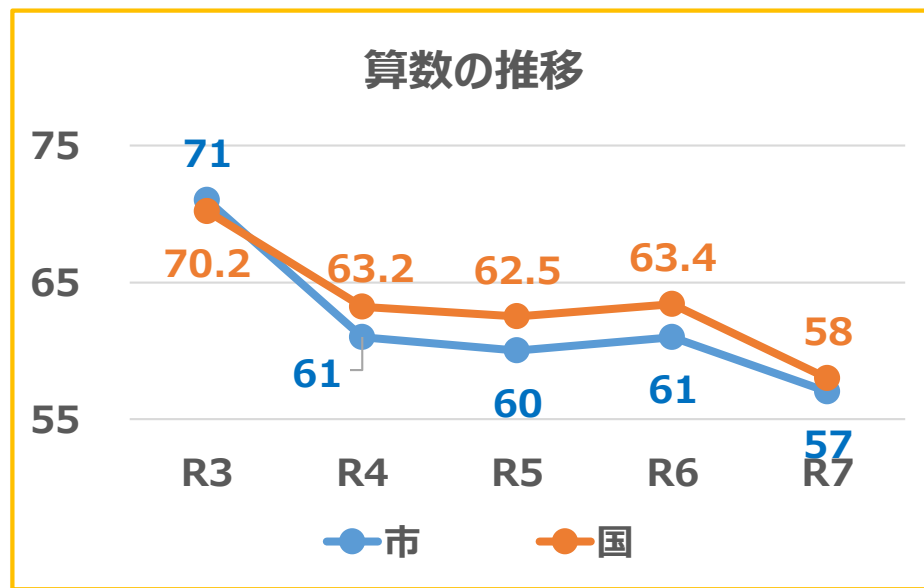
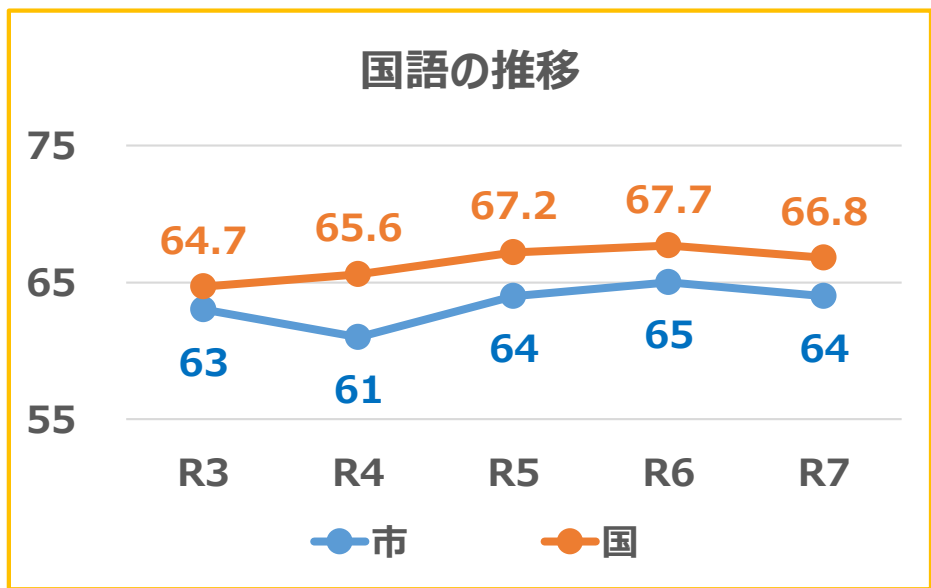
## 実施日

令和7年4月17日（木） ※中学校理科はCBTによる実施で、4月14日～4月17日のうち文部科学省が指定する日

## 調査内容

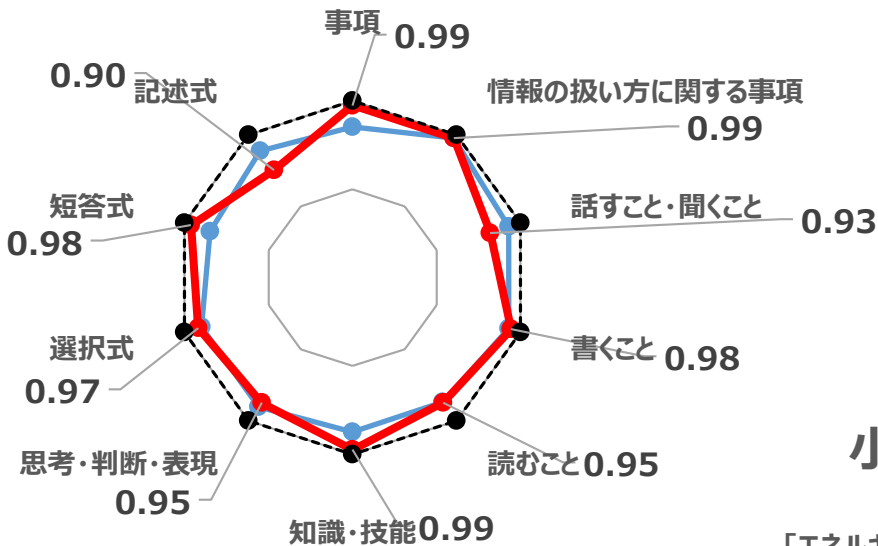
- ①児童生徒：教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕、質問紙調査
- ②学校：質問紙調査

小学校	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国
国語	63	64.7	61	65.6	64	67.2	65	67.7	64	66.8
算数	71	70.2	61	63.2	60	62.5	61	63.4	57	58.0
理科	—	—	58	63.3	—	—	—	—	52	57.1



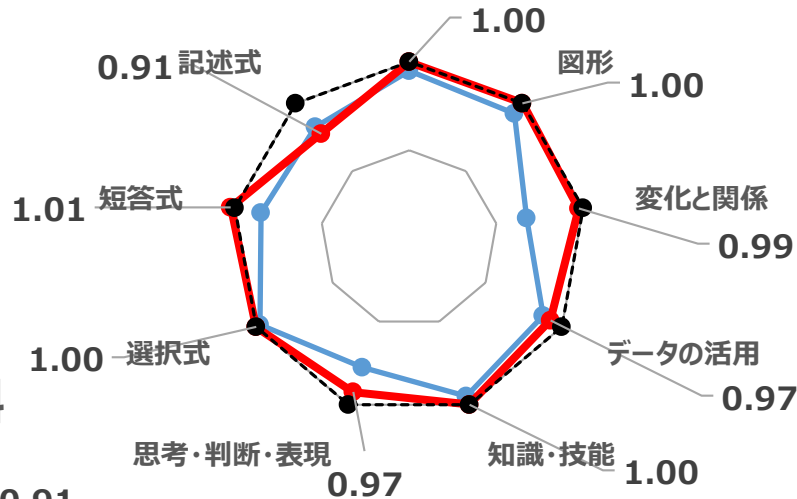
### 小学校 国語

言葉の特徴や使い方に関する



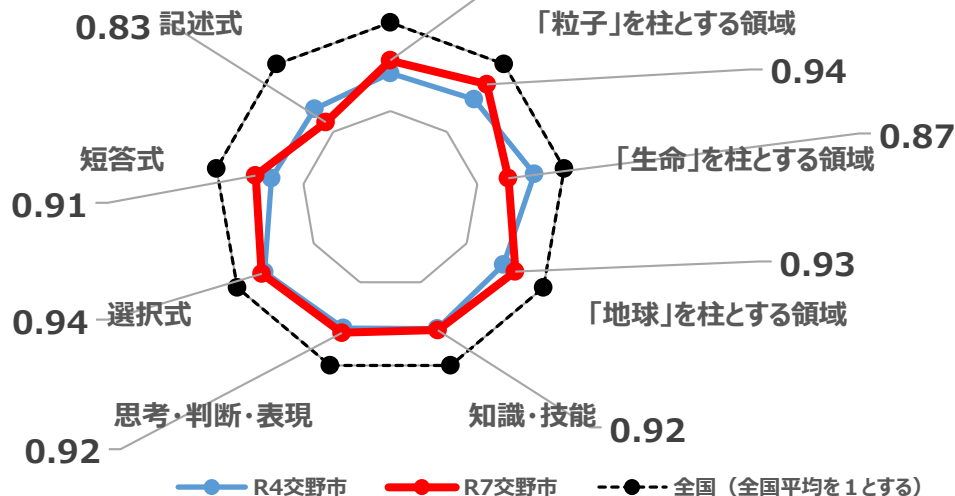
### 小学校 算数

数と計算



### 小学校 理科

「エネルギー」を柱とする領域



- 共通して、「記述式」問題の正答率が全国平均を下回るとともに、他の項目に比べ数値が低い。
- 理科における全国平均との差は国語・算数に比べて大きい。

● R4交野市 ● R7交野市 ---● 全国 (全国平均を1とする)

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	平均正答率 (%)	
			交野市	全国 (公立)
全体		14	64	66.8
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	76.3
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	62.2
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	80.0
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3	61.5
		書くこと	3	67.9
		読むこと	4	54.6
評価の観点	知識・技能	4	73.7	
	思考・判断・表現	10	60.6	
問題形式	記述式	2	53.0	58.8

1三 (1) 話の内容を捉えることができるかを問う問題  
(話すこと・聞くこと)【思考・判断・表現】

「安全に運転するために、**例えば**どのようなことを心がけているのですか。」と発言した目的はどれか。

- ア) 自分が知りたいことをより**具体的に**知るため。
- イ) 質問する理由を相手に正しく伝えるため。
- ウ) 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
- エ) 相手が伝えたいことの内容を明確にするため。

ア : 63.3% イ : 9.0% ウ : 7.9% エ : 19.5%  
(全国 : 71.8%)

「**例えば**」等を正しく使用できるように。

2一 文章の構成を考えることができるかを問う問題  
(書くこと)【思考・判断・表現】  
【ちらし】の文章の構成について説明しているものを選択する。

【ちらし】

**手ぬぐい**  
手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものなのでしょう。

**よさ1 もよう**  
さまざまなおもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもびじたりです。

**季節を感じるもよう**  
手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたものがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

**しゅみやすきなものに合わせたもよう**  
スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のこころに合せて、もようを選び、おくることができます。

**よさ2 使い方**  
手などをふくだけでなく、身にかけたり、物を包んだりすることもできます。

**身に掛ける使い方**  
あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がいやしくなります。

**物を包む使い方**  
手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

- ア) 時間の流れに沿って
  - イ) **内容のまとまりごと**に分けて
  - ウ) 原因と結果を明らかにして
  - エ) 使い方の手順に沿って
- ア : 11.0% イ : 63.9%  
ウ : 3.4% エ : 21.1%  
(全国 : 65.5%)

文章の構成を捉えられるように。  
※「エ」の誤答の割合が高い

3三 (2) 文章と図表などを結び付け、情報を見つけられるかを問う問題  
(読むこと)【思考・判断・表現】  
4つの資料から言葉や文を取り上げ、理由を述べてまとめる(記述する)。

正答率 48.2% (無解答率 : 20.1%)  
全国 : 56.3% (無解答率 : 16.2%)

- 4つの資料は、文章量が多く、またグラフもあり、読み取ることに時間を要することが考えられる。
- 解答するにあたり、解答者が何を書くか道筋を立ててから、資料を読み、必要な情報を見つけ出すことが重要。
- 道筋を立てずに読み出すと、解答する内容がまとまらず、何が必要な情報が定まらない。

文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にして、資料を活用して考えを深められるように指導することが大切。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率 (%)	
			交野市	全国 (公立)
	全体	16	57	58.0
学習指導要領の領域等	数と計算	8	62.5	62.3
	図形	4	56.4	56.2
	測定	2	51.6	54.8
	変化と関係	3	57.1	57.5
	データの活用	5	60.5	62.6
評価の観点	知識・技能	9	65.6	65.5
	思考・判断・表現	7	47.0	48.3
問題形式	記述式	4	31.9	34.9

3 (4)  $1/2 + 1/3$  【知識・技能】  
正答率 85.4% (全国 : 81.3%)

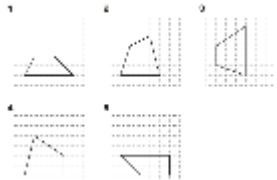
3 (2)  $3/4 + 2/3$  について、もとにする数を同じにして考える。もとにする数は何か。また、 $3/4$ 、 $2/3$ はその数の何個分か。  
【思考・判断・表現】

正答率 21.1% (全国 : 23.0%)

➤ 正答・誤答合わせて57.7%の児童が「通分」と認識しているが、正答率は21.1%。計算問題はできるが、求め方を説明(言語化)に課題

概念を理解できるように指導することが大切。

2 (2) 台形はどれかを選択する。(図形)【知識・技能】



正答率 48.5%  
(全国 : 50.2%)

※「2」や「4」を含めて選択 : 30.7%

3 (3) 数直線のめもりが表す数を分数で答える。

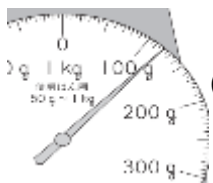
(数と計算)【知識・技能】



正答率 33.0%  
(全国 : 35.0%)

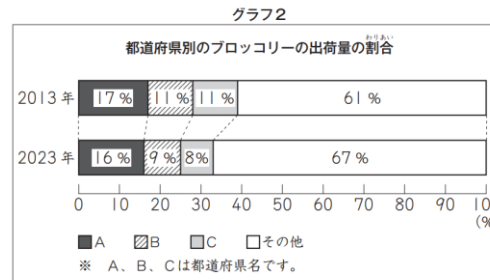
4 (3) はかりの針が指しているめもりは何gか答える。

(測定)【知識・技能】

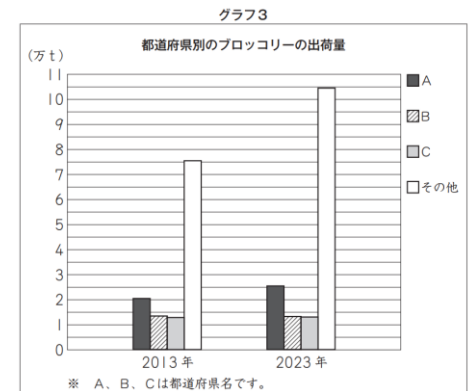


正答率 57.5%  
(全国 : 60.9%)

1 (2) 2つのグラフから、ブロッコリーの出荷量の増減が分かるグラフを選択し、その理由を記述する。【思考・判断・表現】



(作物統計調査による。)



(作物統計調査による。)

正答率 24.5% (全国 : 31.0%)

グラフ3を選択した児童…44.7%

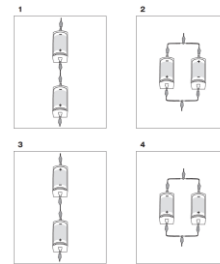
「帯グラフ」や「棒グラフ」が何を表すことに適切かを理解し、目的等に応じてグラフを活用してまとめられるように指導することが大切。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率 (%)	
			交野市	全国 (公立)
	全体	17	52	57.1
学習指導要領の 区分・領域	エネルギー	4	42.7	46.7
	粒子	6	48.3	51.4
	生命	4	45.3	52.0
	地球	6	61.8	66.7
評価の観点	知識・技能	8	50.6	55.3
	思考・判断・表現	9	54.1	58.7
問題形式	記述式	2	37.4	45.2

2 (4) かん電池2個を直列につなぎ、電磁石の強さを最も強くできるものを選択する。(エネルギー)【知識・技能】

正答率 43.1% (全国 : 55.1%)



「2」の並列つなぎを選択して誤答 (40.2%)

※R7大阪府すくすくウォッチ (5年生)

「直列」「並列」の名前を問う問題  
正答率 41.6% (府 : 53.7%)

※R5 直列と並列の明るさの違いの理解  
正答率 15.6% 府 : 27.4%

1 (2) 実験をもとに、「水のしみこみ方は、赤玉土のつぶの大きさによって、ちがいがある」とまとめた理由を、実験の結果を使って説明 (記述) する。(地球)【思考・判断・表現】

正答率 53.0% (全国 : 60.5%)

無解答率 10.1%

【結果】 あかだまつち  
〈赤玉土に水がしみこむ時間〉

	コップA (大きいつぶ)	コップB (小さいつぶ)
1回目	3秒	11秒
2回目	4秒	10秒
3回目	4秒	11秒

正答のうち、各コップの水のしみこむ時間を数値で記述し、それぞれのしみこむ時間を比較して結論を導いた理由を記述できている児童は5.3% (全国 : 8.6%)

理由や根拠を明確にして説明することができるよう指導することが大切。

3 (4) レタスの種子を発芽させる実験をしたが発芽しなかったため、発芽に必要な条件をもとに【問題】を考え、記述する。【思考・判断・表現】

正答率 21.7% (全国 : 29.9%)

無解答率 14.4%

たかひろさんが行った実験



〈条件〉

- ・水あり
- ・空気あり (種子が空気にふれている)
- ・温度 (室温)
- ・日光なし (箱をかぶせている)
- ・肥料なし

日光または肥料について着目している児童が 21.7%。

「見つけた【問題】を書く」ことを求められているため、「〇〇だろうか。」のように記述しなければならないが、このような記述をしていない児童 (誤答) が38.6%。

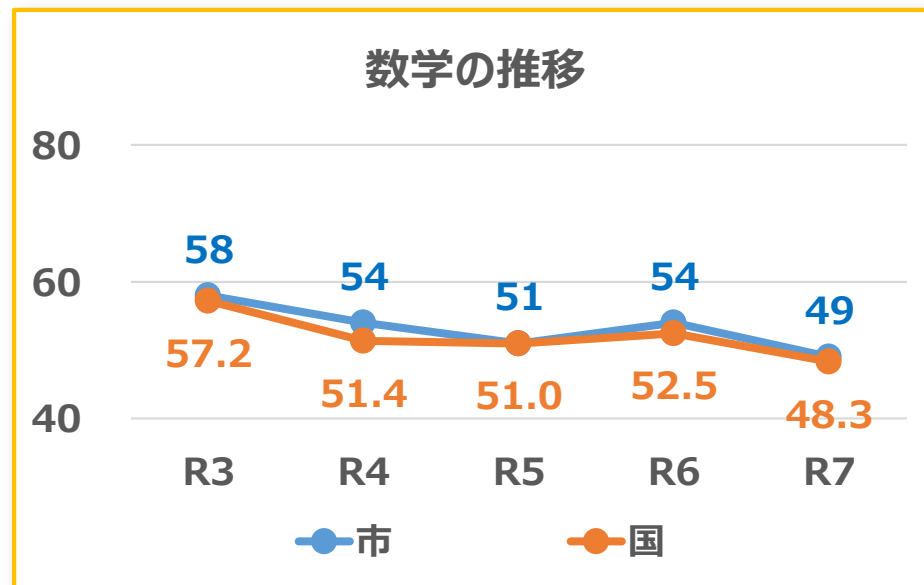
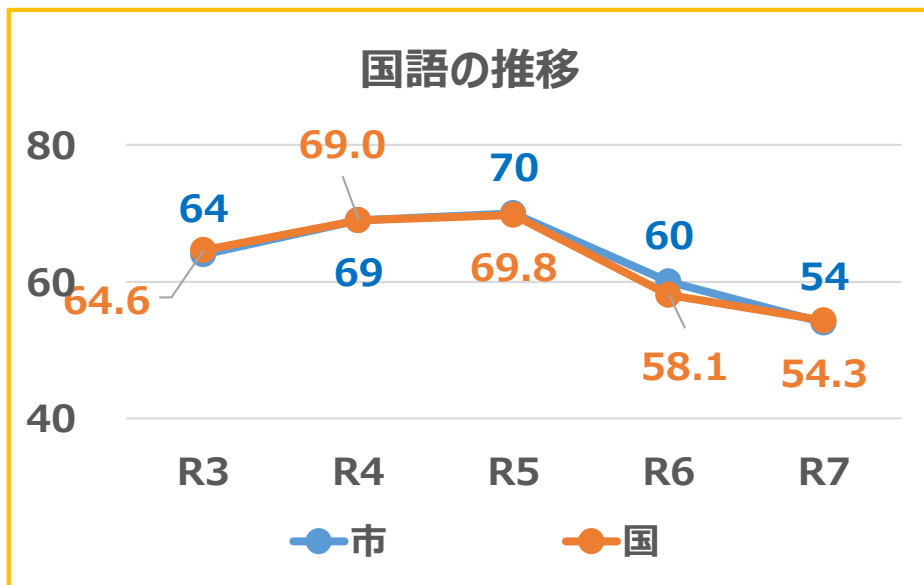
問われている問題の趣旨を理解できるように、また、何を調べるための実験か、その目的を理解できるように指導することが大切。

中学校	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国
国語	64	64.6	69	69.0	70	69.8	60	58.1	54	54.3
数学	58	57.2	54	51.4	51	51.0	54	52.5	49	48.3
理科	—	—	48	49.3	—	—	—	—	501 <sup>(※)</sup>	503
英語	—	—	—	—	47	45.6	—	—	—	—

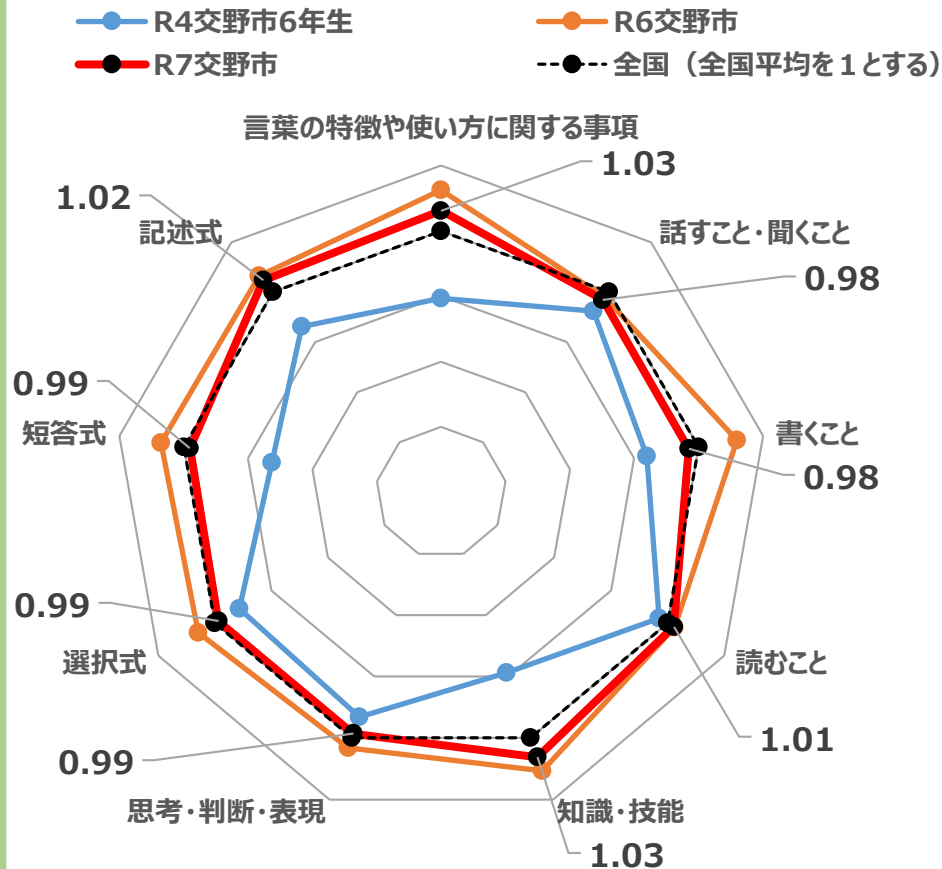
※令和7年度中学校理科は、「平均IRTスコア」を表記。

「IRT」とは、児童生徒の正答・誤答が、問題の難易度等によるのか、児童生徒の学力によるのか区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

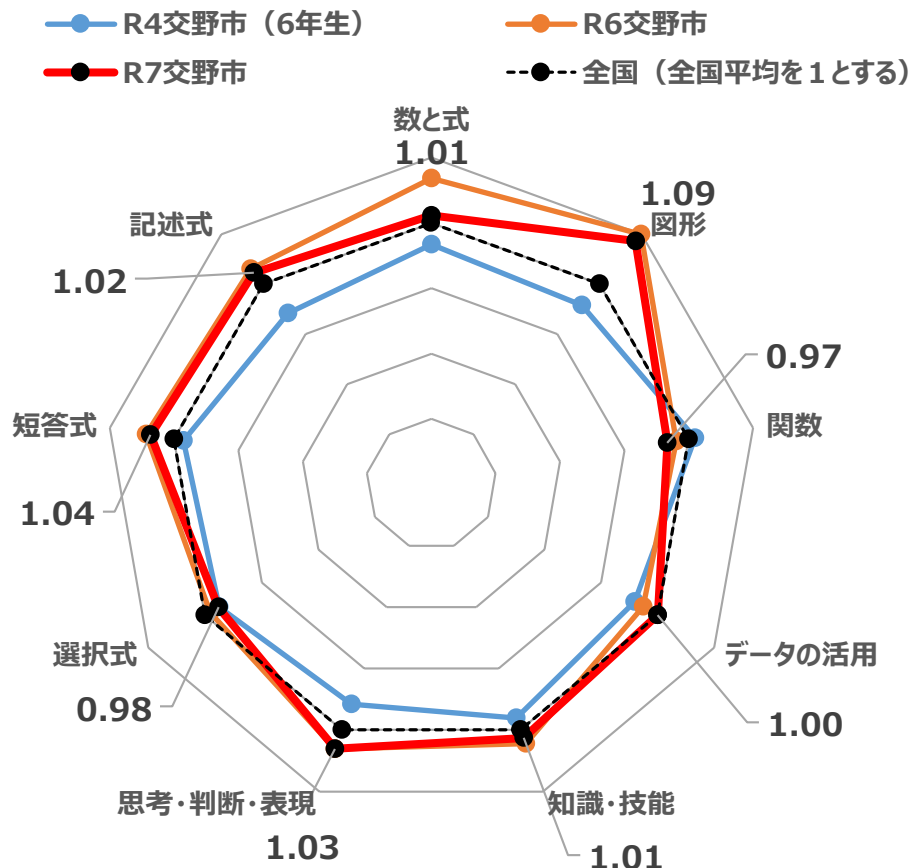
「IRTスコア」とは、500を基準にした得点で表したもので、「平均IRTスコア」は、算出された各生徒のスコアをたし合わせて平均をとったもの。



### 中学校 国語



### 中学校 数学



➤ 共通して、同一集団（R4 6年生）から各項目で伸び（全国平均との差の縮小）が見られる。また、「記述式」問題について、全国平均を上回っている。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			交野市	全国 (公立)	
全体			14	54	54.3
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	49.6	48.1
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0	-	-
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0	-	-
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4	52.4	53.2
		書くこと	5	52.0	52.8
		読むこと	3	63.0	62.3
	評価の観点	知識・技能	2	49.6	48.1
思考・判断・表現		12	54.9	55.3	

2四 分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを記述する。  
 (話すこと・聞くこと)【思考・判断・表現】  
 正答率 24.5% (全国：23.2%)  
 無解答率 2.8%

【村田さんのスピーチ】の [ ]  
 今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

〈スライド⑤〉



【スピーチ】の内容と〈スライド⑤〉を比較して、〈スライド⑤〉を分かりやすくする工夫を考える。そのため、【スピーチ】の内容を把握するとともに、〈スライド⑤〉の特徴を把握しなければならない。  
 4つの条件を満たせず誤答が、72.7%。

自分の考えが伝わる文章になるように、表現の効果を考えて工夫して書けるよう指導することが大切。

1四 ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く。  
 ※2つの条件にしたがって記述する。(書くこと)【思考・判断・表現】  
 正答率 29.9% (全国：31.0) 無解答率 1.0

【工夫】

A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。  
 B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

ア どうやってあんなすばらしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。  
 イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いうように感じました。  
 ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

接続する語句や指示する語句を用いて、【工夫】と【感想の一部】を関係づけられていない生徒6.5%。

【工夫】や【感想の一部】を適切に使用して解答できていない生徒62.5%。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率 (%)	
			交野市	全国 (公立)
	全体	15	49	48.3
学習指導要領の領域等	数と式	5	44.0	43.5
	図形	4	50.5	46.5
	関数	3	46.6	48.2
	データの活用	3	58.6	58.6
評価の観点	知識・技能	9	55.1	54.4
	思考・判断・表現	6	40.3	39.1

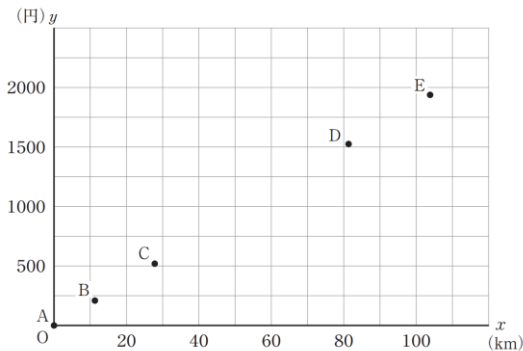
8 (1) C駅とD駅間の走行距離について、グラフの何を読み取れば分かるか、選択する。  
 (関数) 【知識・技能】

正答率 69.1% (全国 : 71.9%)

8 (2) A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明 (記述) する。(関数) 【思考・判断・表現】

正答率 36.5% (全国 : 38.0%) 無解答率33.2%

A 駅からの走行距離と運賃のグラフ



(1) より、約30%の生徒がグラフの読み取りに課題があることが捉えられる。  
 (2) では、 $x=60$ のときの $y$ の値を求めるということを理解した上で、その求め方を記述しなければならない。  
 無解答33.2%の生徒は、解決までの道筋が立てられなかったと捉えられる。

表、式、グラフなどを用いて問題解決する場面を設定し、それらの使い方について数学的に説明できるように指導することが大切。

9 (3) 平行四辺形になることを証明 (記述) する。  
 (図形) 【思考・判断・表現】

正答率 36.8% (全国 : 33.2%) 無解答率 31.0%

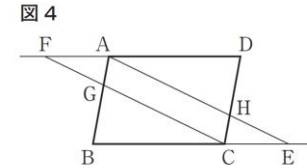


図4において、四角形AGCHが平行四辺形になることは、2組の向かい合う辺がそれぞれ平行であることを示すことで証明できます。四角形AGCHが平行四辺形になることを証明しなさい。ただし、四角形FCEAが平行四辺形であることはすでにわかっていることとします。

前の問題で平行四辺形であることを証明する過程が示されているため、この問題を解く参考にできるが、正答のうち、根拠が抜けていたり、根拠の表現が不十分だったりする生徒 (誤答) が13.0%。

図形の性質について理解できるようにすること、さらに図形の性質になぞって、平行四辺形であることを証明するための条件を見だし、根拠を示しながら、証明できるように指導することが大切。

1 1から9までの数の中から素数をすべて選ぶ。  
 (数と式) 【知識・技能】

正答率 27.2% (全国 : 31.8%)

1を素数として選択している生徒 (誤答) が56.2%

4 (2) 気体の性質に関する知識が概念として身に付いているかを問う (選択)。  
(粒子)【知識・技能】



有毒な一酸化炭素は空気より軽いので、  
( ) ように行動します。



正答率 90.7% (全国 : 92.8%)

5 (1) 実験器具の操作等に関する技能が身に付いているかを問う (選択)。  
(粒子)【知識・技能】



熱い!  
やけどしちゃった。

すぐに応急処置を  
しましょう。



正答率 94.3% (全国 : 93.0%)

生活経験と結びつくことで、正答率は高いことが考えられる。

6 (2) 植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面  
や根の構造について表現できるかを問う (選択)。  
(生命)【思考・判断・表現】

正答率 34.3% (全国 : 41.9%)

1 (2) 疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定  
できるかどうかを問う (記述)。  
(粒子)【思考・判断・表現】



【Aさんの疑問】  
理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな?



【Aさんの疑問】を調べたり、実験を行ったりして解決  
するためには、どのような課題にすればよいですか?



課題は、  
( ) にしようと思います。

正答率 39.7% (全国 : 46.2%)

( ) に適切な課題を書くことを求められているため、「～  
だろうか」のような書き方で解答する必要があるが、誤答のうち  
27.6%の生徒がそのような内容になっていない。  
問いに適切な解答ができるように。

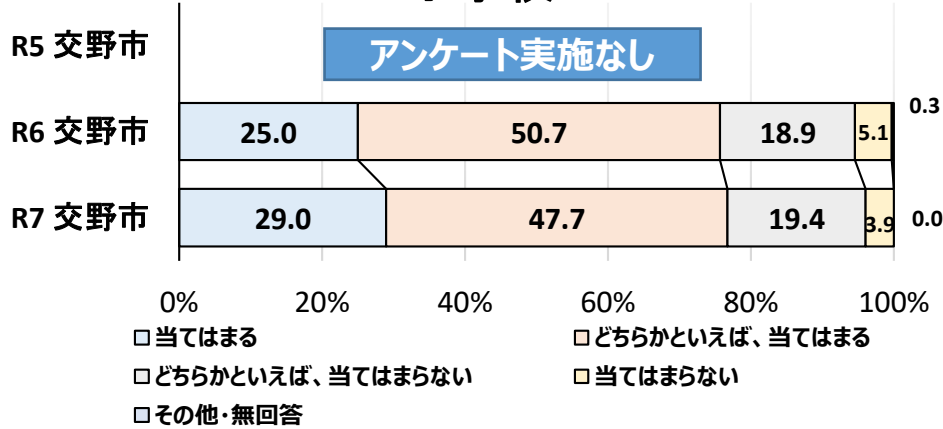
日常生活や他教科等との関連を図り、観察、実験等体験的な  
学習活動の充実を図る中で、根拠をもとに説明できるよう指  
導することが大切。

児童生徒質問紙調査結果

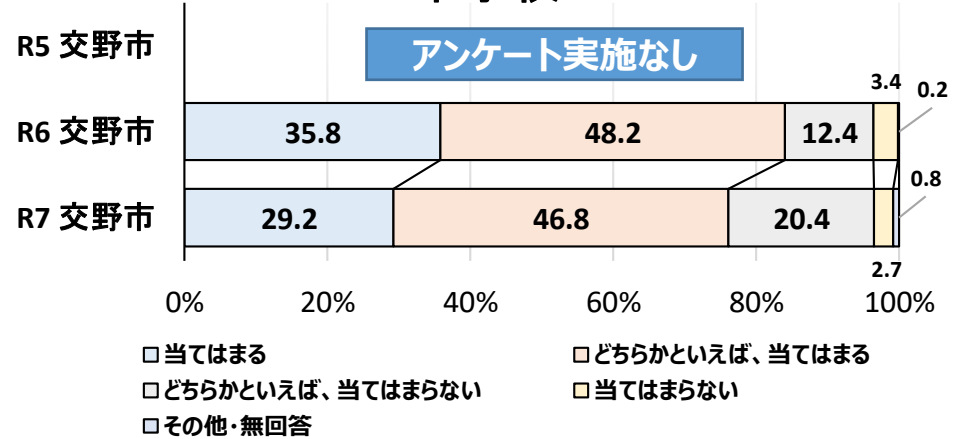
学びに向かう力、人間性等に係る項目①

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

小学校

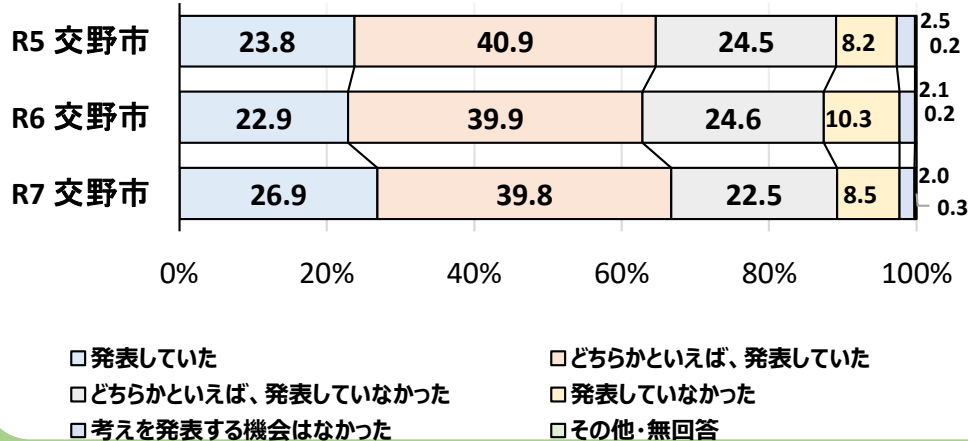


中学校

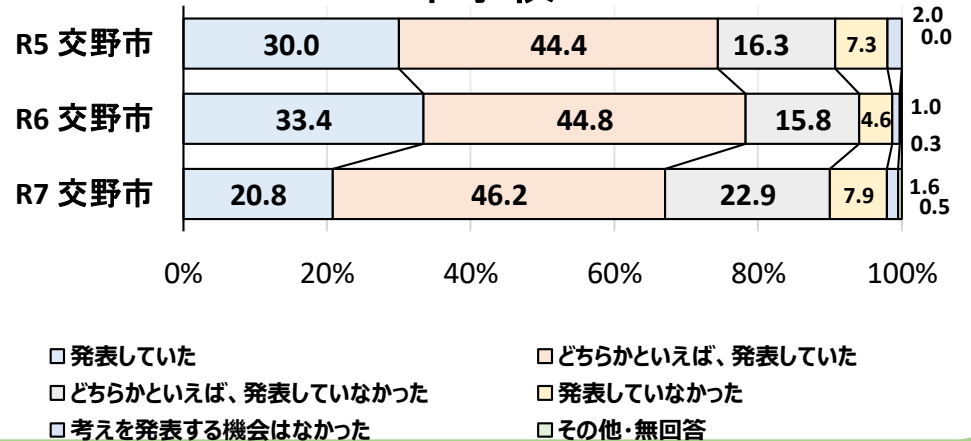


授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

小学校



中学校

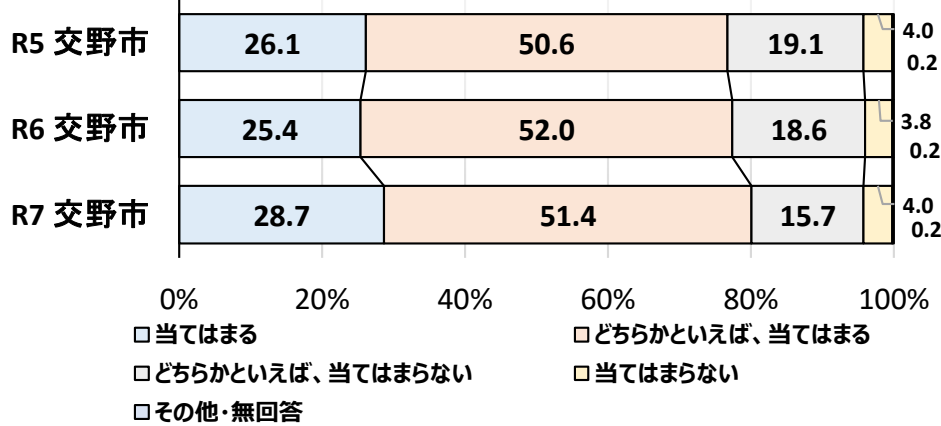


児童生徒質問紙調査結果

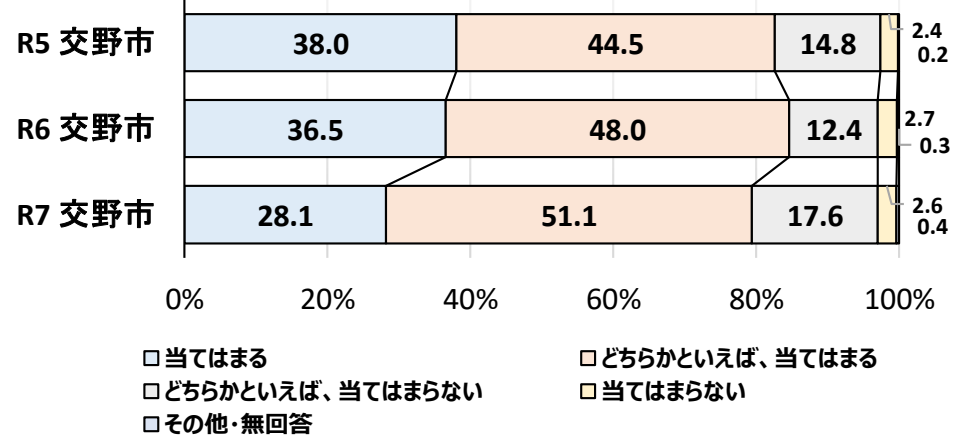
学びに向かう力、人間性等に関係する項目②

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学校



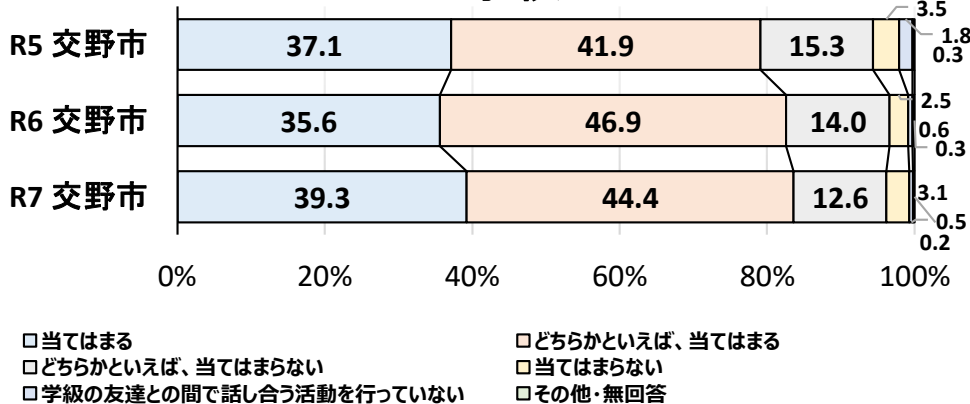
中学校



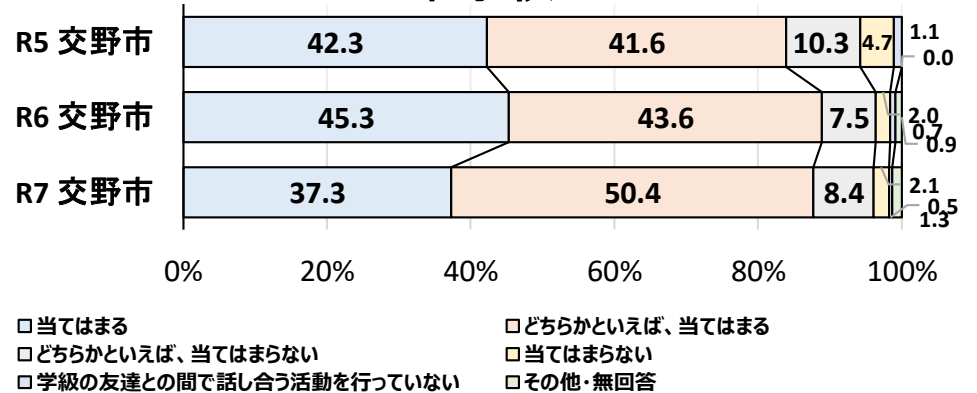
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか

※R5:学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

小学校



中学校

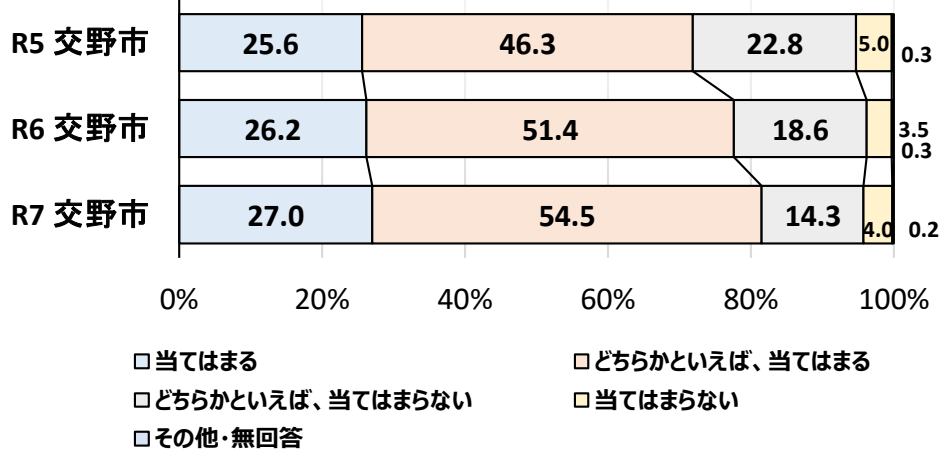


児童生徒質問紙調査結果

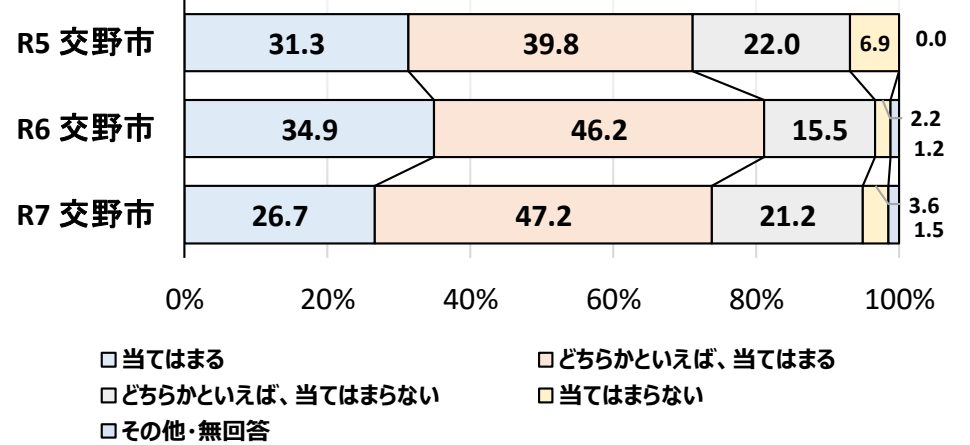
学びに向かう力、人間性等に係る項目③

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

小学校



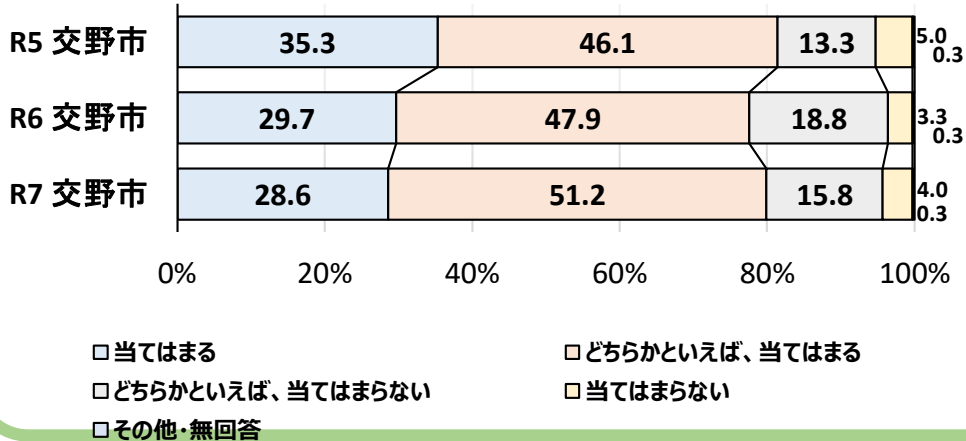
中学校



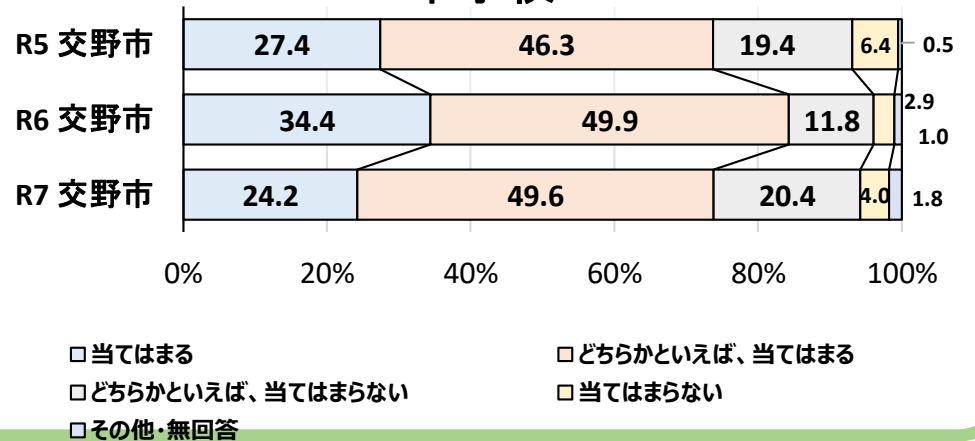
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか

※R5:授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか

小学校



中学校



## 児童生徒質問紙調査結果

## 学びに向かう力、人間性等に係る項目

肯定的回答（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）【%】

質問項目	小学校 (市)	小学校 (全国)	中学校 (市)	中学校 (全国)
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、 <b>工夫</b> することはできていますか	76.7	81.9	76.0	77.5
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを <b>工夫</b> して発表していましたか	66.7	68.6	67.0	63.0
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	80.1	80.3	79.2	77.7
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	83.7	84.9	87.7	84.7
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	81.5	79.4	73.9	73.4
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができるとおもいますか	79.8	82.5	73.8	74.8

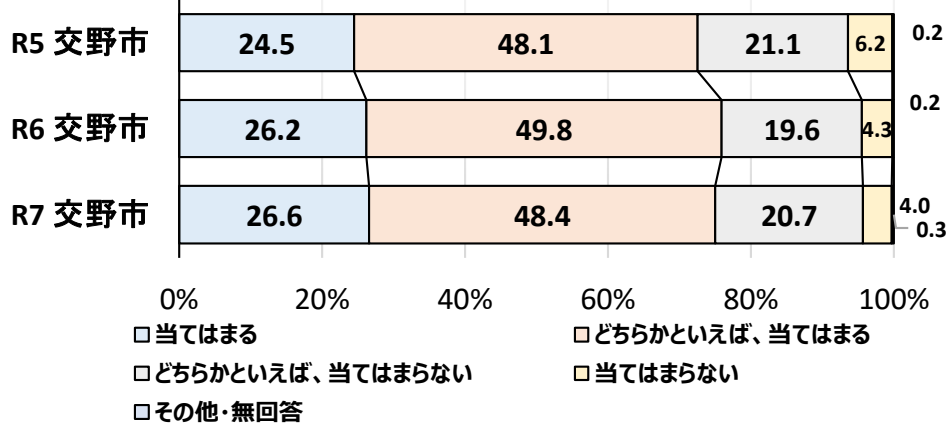
- 小学校ではすべての項目で肯定的回答は昨年度より上がった。
- 中学校ではすべての項目で肯定的回答は昨年度より下がった。
- 昨年度に引き続き、「工夫して発表する」ことが他の項目より低く、一方「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」が他の項目より高い。

児童生徒質問紙調査結果

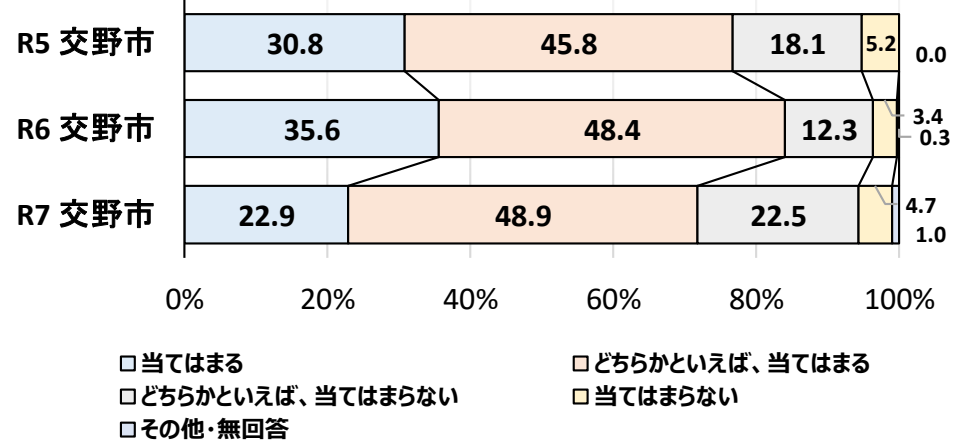
授業改善に関する項目①

授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

小学校

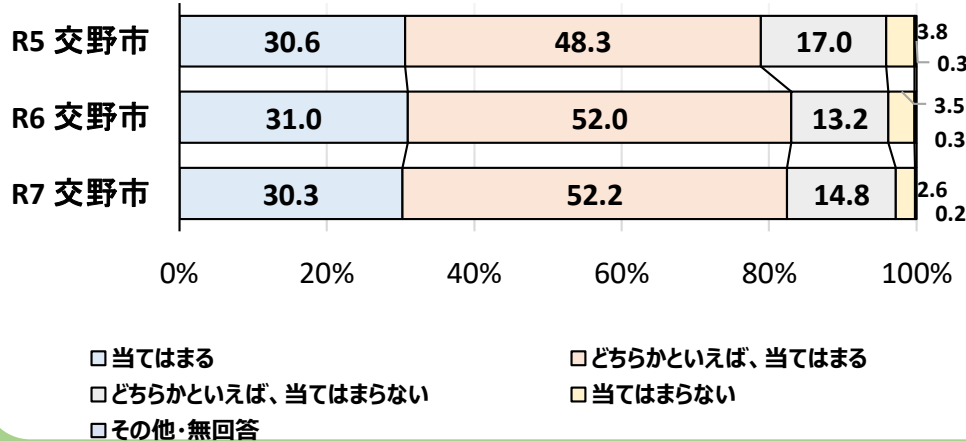


中学校

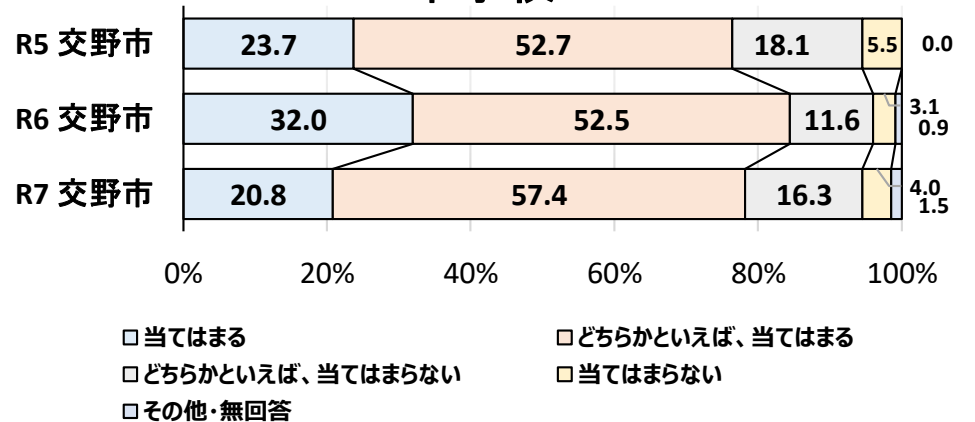


授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

小学校



中学校

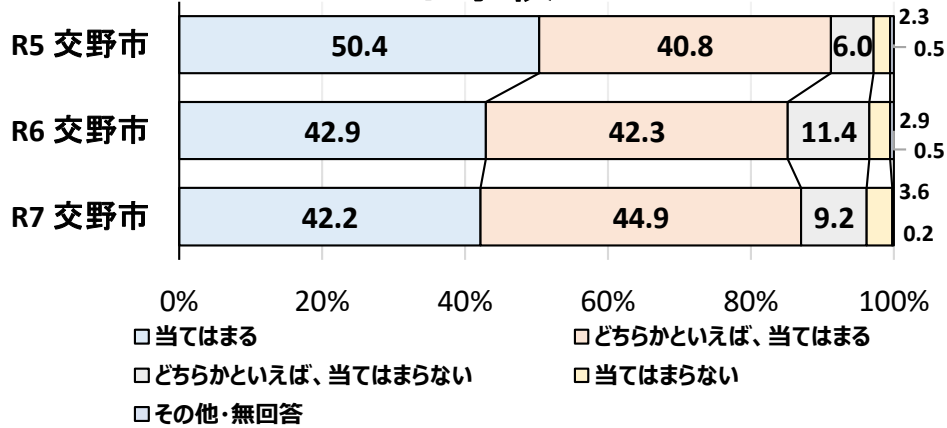


児童生徒質問紙調査結果

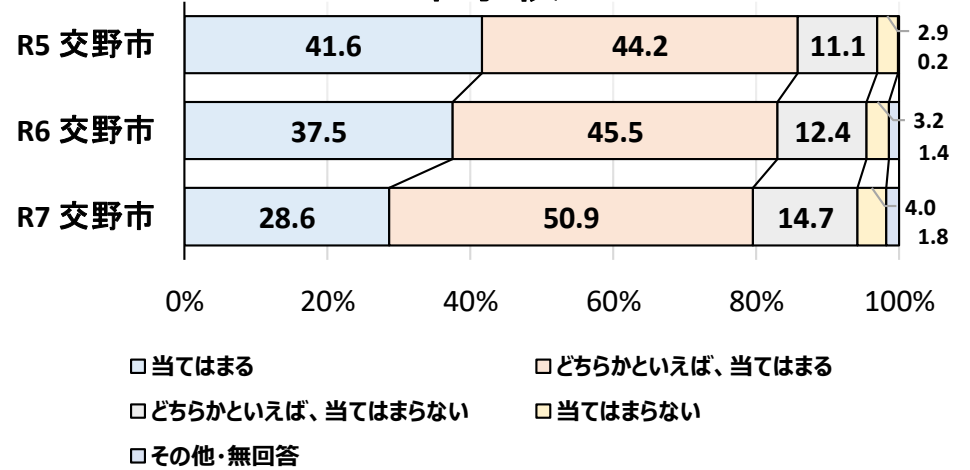
### 授業改善に関する項目②

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

#### 小学校



#### 中学校



## 児童生徒質問紙調査結果

## 授業改善に関する項目

肯定的回答（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）【%】

質問項目	小学校 (市)	小学校 (全国)	中学校 (市)	中学校 (全国)
授業では、各教科などで <b>学んだことを生かし</b> ながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	75.0	77.8	71.8	70.6
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	82.5	83.4	78.2	79.3
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	87.1	87.4	79.5	83.8

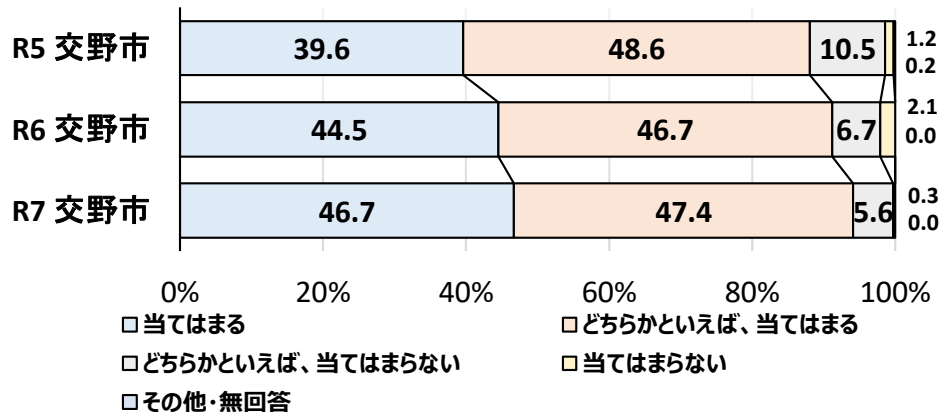
- 小学校では、「先生は分かるまで教えてくれているか」の肯定的回答が、昨年度より1.9ポイント上がった。
- 中学校ではすべての項目で肯定的回答は昨年度より下がり、特に「自分の考えをまとめる活動を行っていたか」の肯定的回答は、12.2ポイント下がった。

児童生徒質問紙調査結果

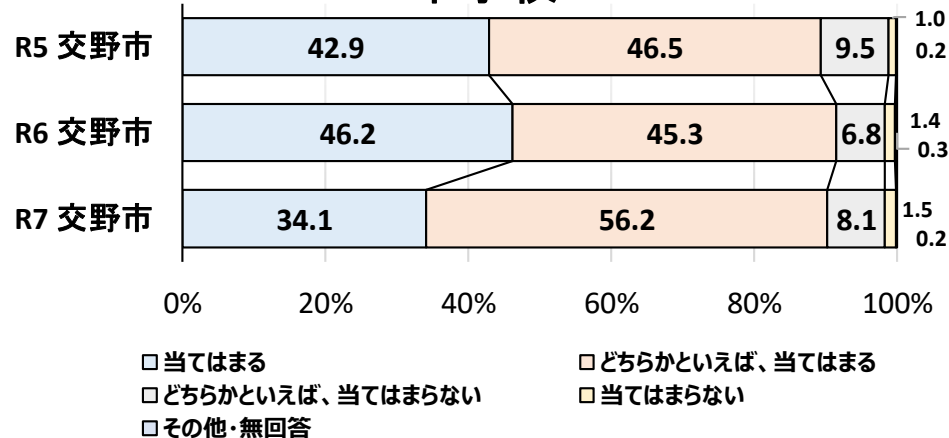
児童・生徒同士の関わりに関する項目①

人が困っているときは、進んで助けていますか

小学校

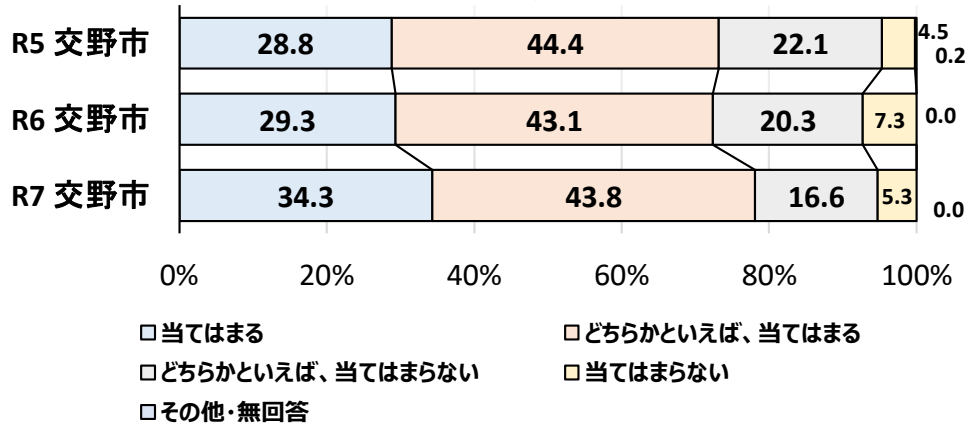


中学校

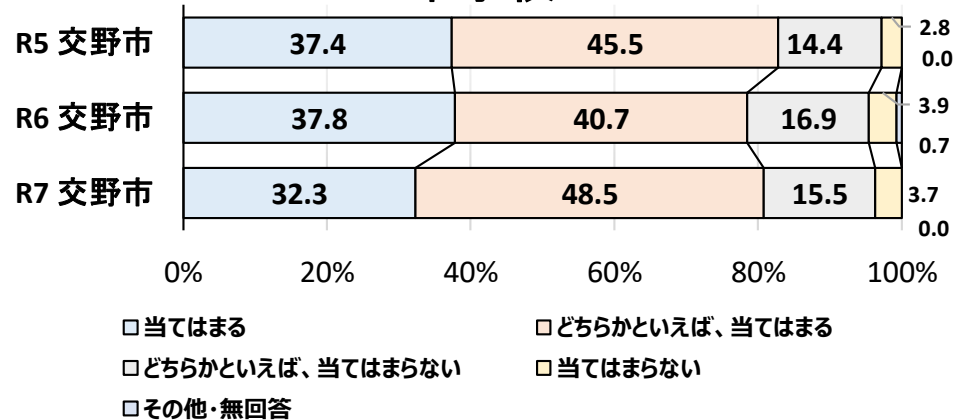


自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

小学校



中学校

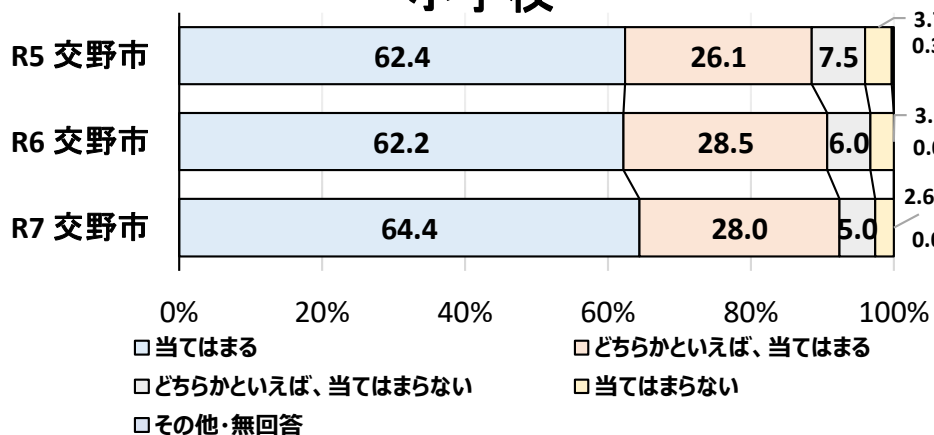


児童生徒質問紙調査結果

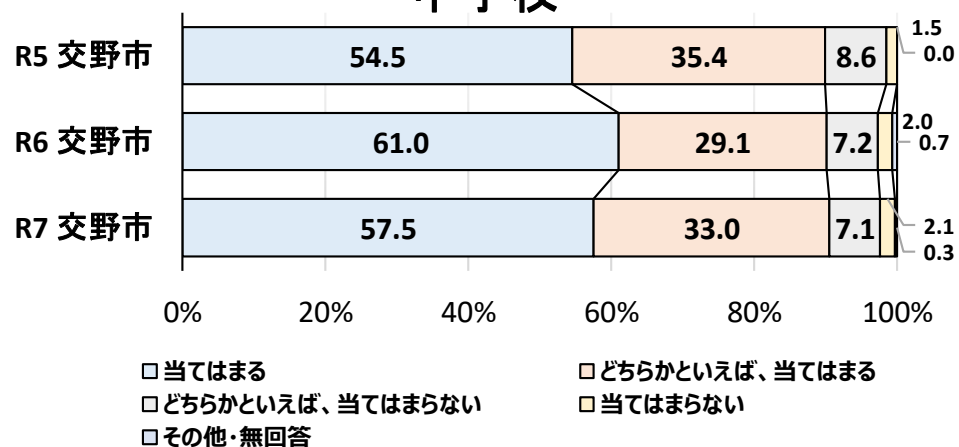
児童・生徒同士の関わりに関する項目②

友達関係に満足していますか

小学校

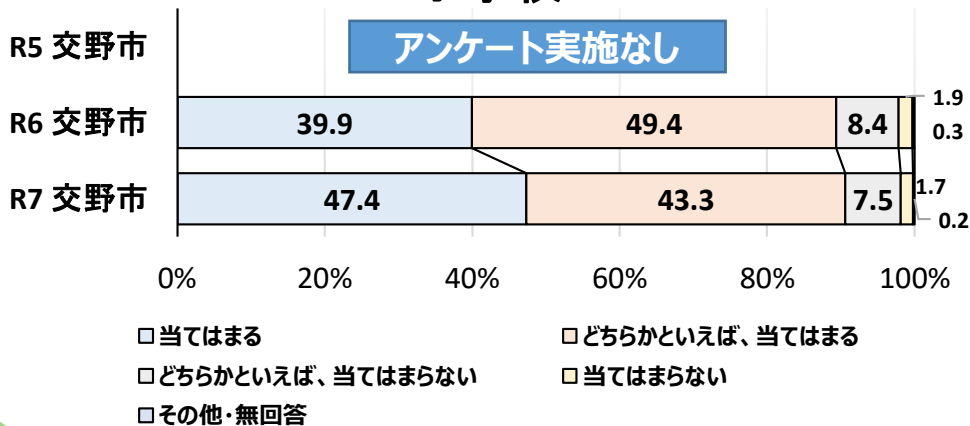


中学校

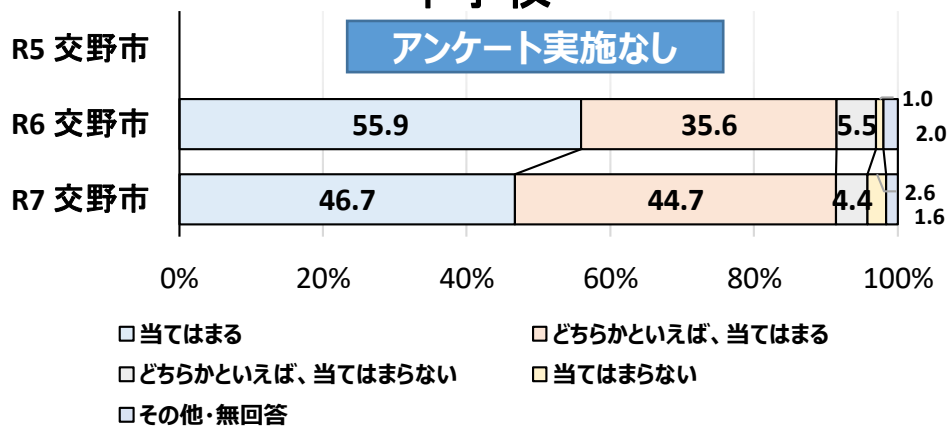


授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

小学校



中学校

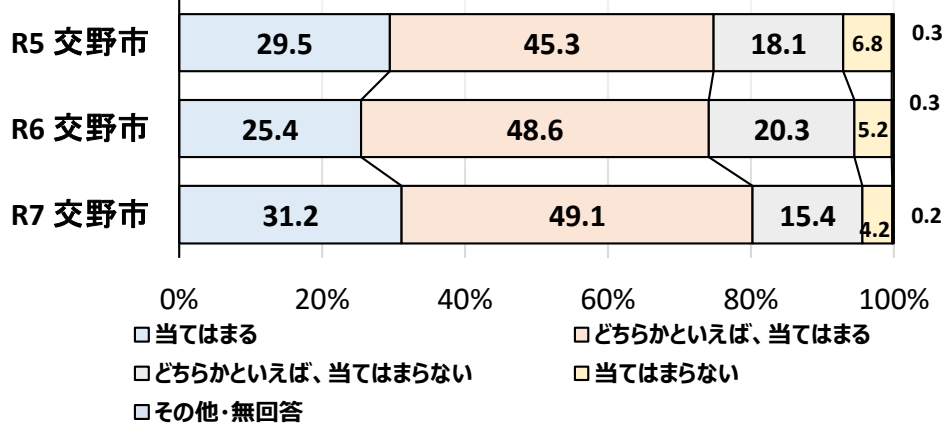


児童生徒質問紙調査結果

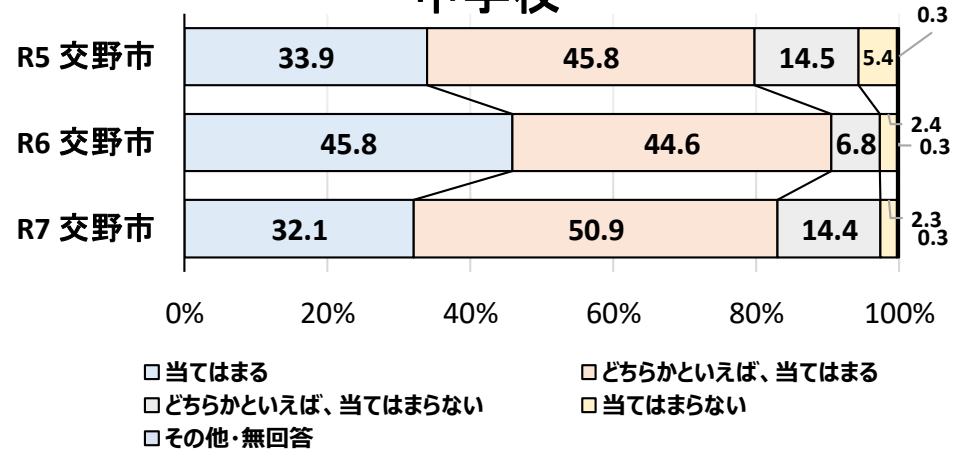
児童・生徒同士の関わりに関する項目③

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

小学校



中学校



## 児童生徒質問紙調査結果

## 児童・生徒同士の関わりに関する項目

肯定的回答（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）【%】

質問項目	小学校 (市)	小学校 (全国)	中学校 (市)	中学校 (全国)
人が困っているときは、進んで助けていますか	94.1	93.7	90.3	90.9
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.1	78.1	80.8	79.2
友達関係に満足していますか	92.4	91.7	90.5	91.4
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	90.7	91.9	91.4	91.9
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	80.3	83.3	83.0	84.3

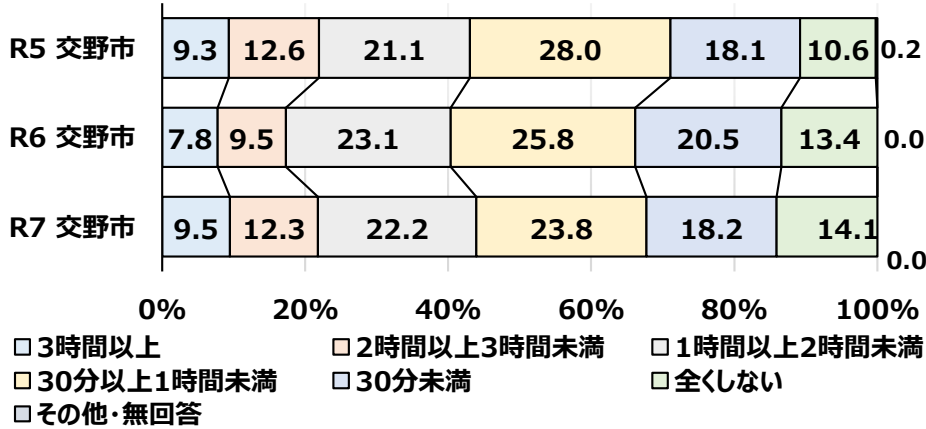
- 小学校ではすべての項目で肯定的回答は昨年度より上昇した。特に、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」では、5.7ポイント上がった。中学校の同質問についても、2.3ポイント上がった。
- 昨年度に引き続き、小・中学校ともに「人が困っているときは、進んで助けているか」に関する項目における肯定的回答が他の項目と比較して高い。

児童生徒質問紙調査結果

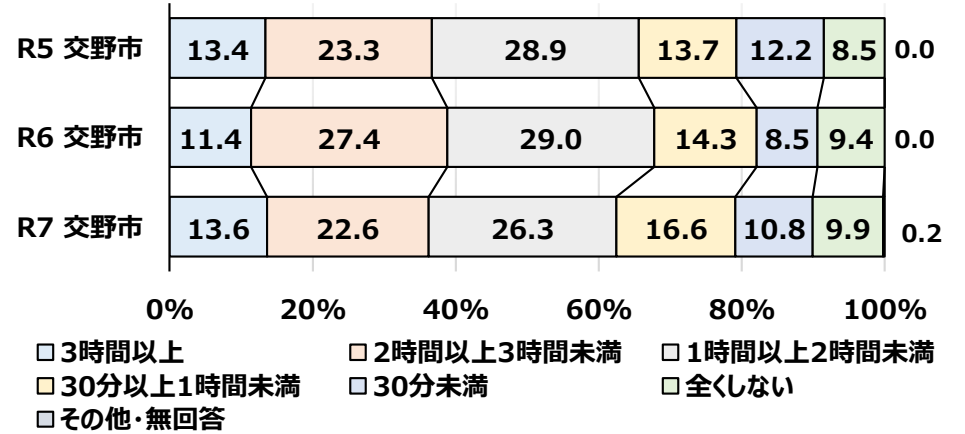
学習習慣に関する項目

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まます）

小学校

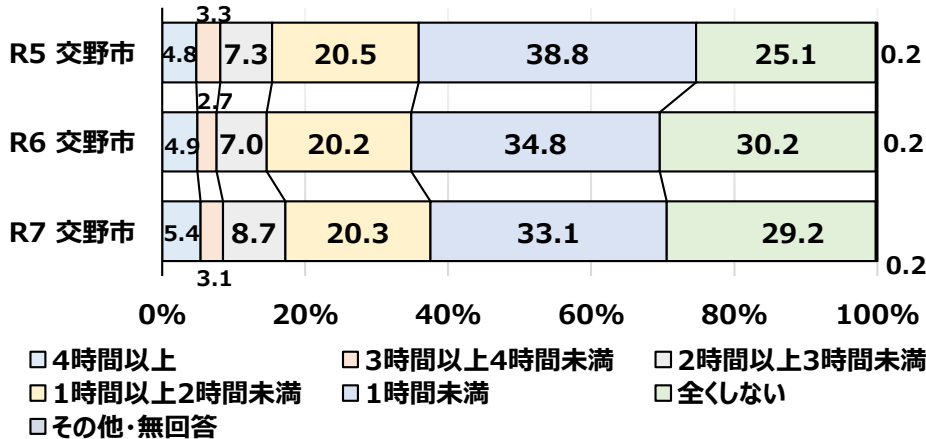


中学校

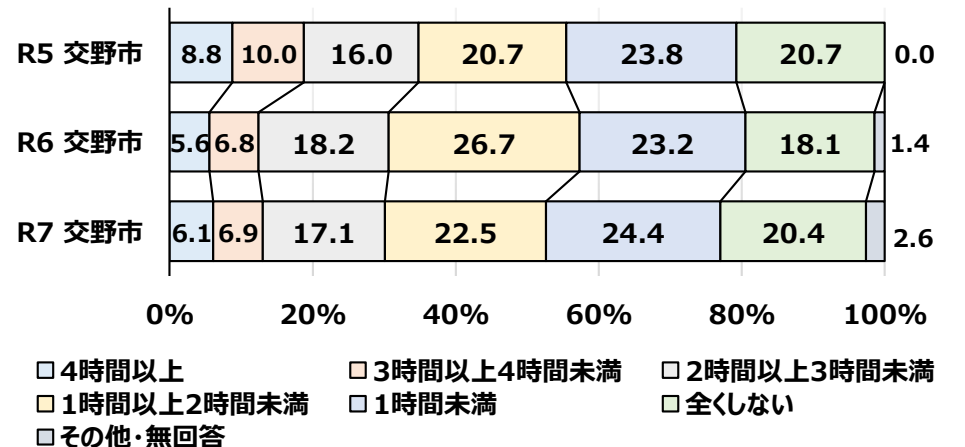


土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校



中学校



## 成果と課題解決に向けて

## 成果

※各教科の成果は、全国の正答率が70%を超える問題のうち、本市の正答率が70%を超えている問題をもとにしている

- |   |  |
|---|--|
| ○ 小学校国語<br>漢字を正しく使うこと、内容の大体を捉えること等（選択・短答）       | ○ 中学校国語<br>話しの構成を工夫すること、表現の効果を考えること等（選択・短答）  |
| ○ 小学校算数<br>分数のたし算、角の大きさ、数量の関係を立式し計算すること等（選択・短答） | ○ 中学校数学<br>じゃんけんを行うときの確率を求めること（短答）           |
| ○ 小学校理科<br>実験結果等をもとに、他の条件で結果を予想し、表現すること等（選択・短答） | ○ 中学校理科<br>抵抗に関する理解、実験器具の操作に関する技能等（選択・短答・記述） |

## 課題

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| ・ 言葉を正しく使用して文章を作成すること             | ・ 資料や実験結果等データを根拠として説明したり新たな課題を見出したりすること |
| ・ 自分で学び方を考えて工夫したり、学んだことを生かそうとすること | ・ 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫すること   |

## 調査結果を踏まえた改善に向けた指導例

**意図的・継続的な学習活動を展開し、  
児童生徒が“学び”を実感できる授業づくりを進める**

- 国語
  - ・人の意見と自分の意見を比較しながら自分の考えをまとめる学習
  - ・根拠を明確にして相手に分かりやすくなるように文章の構成を考えたり、目的や意図に応じて図や表を使うなどの表現を工夫する学習
- 算数・数学
  - ・目的をもってデータを集め、表やグラフに整理して、比較したり、分析したり考えをまとめたりする学習
- 理科
  - ・結果を予想しながら実験や観察を行い、予想と結果を比較しながら考察する学習
  - ・実験や観察の結果を図や表に整理してまとめたり、日常生活で起こることや身の回りのものに関連させて考えを深めたり、新たな課題を見出す学習
- 教科共通して
  - ・「○○になるのは、△△だから」のように、理由や根拠を明確にして説明する学習